第４　学　校　教　育

第４　学校教育

１　小・中学校一覧

令和５年４月１日現在

学校名	所　在　地	校　　長 （※統括校長）	副 校 長	開校年月日	電　話	ＦＡＸ
第一小学校	福生 1055	髙瀬　智子	近藤　弘幸	明治 ６年６月 10 日	551－0046	530－7440
第二小学校	熊川 623	湊　　仁	浅井　博行	明治 ７年７月２５日	551－0954	530－7441
第三小学校	牛浜 162	浅倉　宏之	西村　学徳	昭和 26 年９月１５日	551－0249	530－7442
第四小学校	福生 1290	南方　孝之	阿部　憲一	昭和 34 年４月１日	551－0840	530－7443
第五小学校	南田園１-２-２	泉田　巧人	中島　惠大	昭和 44 年４月１日	552－0256	530－7444
第六小学校	加美平１-９-１	榎並　隆博（※）	岡野　厚実	昭和 46 年４月１日	551－0753	530－7445
第七小学校	北田園１-１-１	山岸　史子	中村　将行	昭和 49 年４月１日	551－9303	530－7446
第一中学校	熊川 845	沼田　博明	田中　洋介	昭和 22 年４月１日	551－0321	530－7447
第二中学校	加美平１-22-１	森保　　亮	平井　貞昭	昭和 41 年４月１日	551－1970	530－7448
第三中学校	南田園３-１-１	植村　多岐	市来原　真茂	昭和 49 年４月１日	551－9301	530－7449

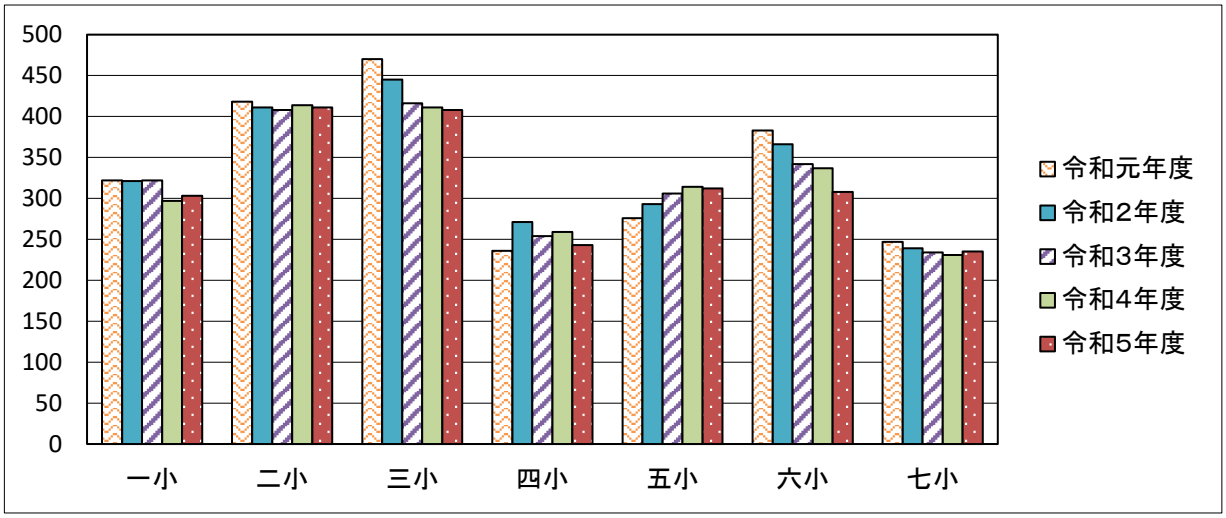
２　小・中学校施設一覧

令和５年４月１日現在

学校名	校地面積　㎡		建物面積㎡	普通教室保有	特別教室保有	プ　ー　ル		講　　堂	
	運動場	建物敷地				改築造年度	規模m・コース	建築年度	建築面積㎡
第一小学校	8,150	5,302	4,607	16	12	S 55	25・6	S 56	868
第二小学校	6,469	5,476	4,625	17	14	S 54	25・6	S 56	862
第三小学校	7,840	6,916	5,279	15	13	S 58	25・6	S 57	870
第四小学校	8,241	4,958	3,648	10	12	S 56	25・6	S 58	876
第五小学校	8,946	4,193	3,931	12	14	S 60	25・6	S 59	886
第六小学校	6,082	5,206	4,948	18	11	S 60	25・6	S 60	791
第七小学校	11,990	3,799	4,549	11	18	S 49	25・6	S 62	919
小　　計	57,718	35,850	31,587	94	99				
第一中学校	25,853	6,460	6,398	17	17	S 57	25・6	S 48	905
第二中学校	12,322	3,217	5,776	14	21	S 59	25・6	S 55	1,118
第三中学校	12,223	5,397	5,617	9	18	S 49	25・6	S 49	887
小　　計	50,398	15,074	17,791	41	55				
合　　計	108,116	50,924	49,378	135	154				

3　小・中学校児童・生徒数の推移

（1）小　学　校

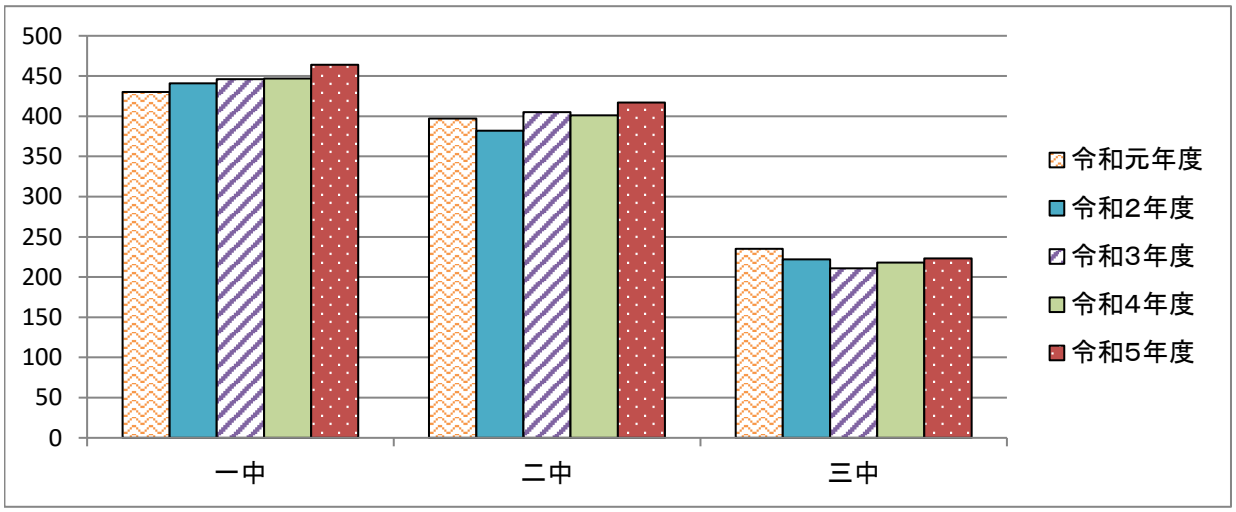


（単位：人）

年度	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	第五小学校	第六小学校	第七小学校	計
令和元年度	322	418	470	236	276	383	247	2,352
令和２年度	321	411	445	271	293	366	239	2,346
令和３年度	322	408	416	254	306	342	234	2,282
令和４年度	297	414	411	259	314	337	231	2,263
令和５年度	303	411	408	243	312	308	235	2,220

（注）児童数については、各年の５月１日現在の数値である。

（2）中　学　校



（単位：人）

年度	第一中学校	第二中学校	第三中学校	計
令和元年度	438	409	268	1,115
令和２年度	430	397	235	1,062
令和３年度	441	382	222	1,045
令和４年度	446	405	211	1,062
令和５年度	464	417	223	1,104

（注）生徒数については、各年の５月１日現在の数値である。

4　小・中学校の教職員数

区分 学校名	校長	副校長	通常の学級		特別支援学級		特別支援教室	日本語学級	都費事務職員	市費事務職員	用務員	合計
			教諭	養護教諭	固定級	通級指導学級						
第一小学校	1	1	16	1	5			4	1	1	1	31
第二小学校	1	1	17	1	3				1	1	1	26
第三小学校	1	1	17	1			8		1	1	1	31
第四小学校	1	1	13	1					1	1	1	19
第五小学校	1	1	15	1			5		1	1	1	26
第六小学校	※1	1	15	1	4				1	1	1	25
第七小学校	1	1	13	1		3			1	1	1	22
小学校　計	7	7	106	7	12	3	13	4	7	7	7	180
第一中学校	1	1	26	1	9				1	1	1	41
第二中学校	1	1	22	1				2	1	1	1	30
第三中学校	1	1	14	1			4		1	1	1	24
中学校　計	3	3	62	3	9	0	4	2	3	3	3	95
合計	10	10	168	10	21	3	17	6	10	10	10	275

※…統括校長

（注）教諭には、充て指導主事・栄養教諭も含まれる。

５　小・中学校要覧

学校名　福生市立福生第一小学校
校　長　髙瀬　智子　　副校長　近藤　弘幸
最寄駅　ＪＲ　青梅線　福生駅

（１）教育目標

・１５０年に亘る伝統を継承し、コミュニティ・スクールとしてさらに発展させるため、創造性と先進性があり地域に根ざした学校教育の推進を図ります。
・子どもたちが自分らしさを発揮し、未来に対して夢をもち、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓きこれからの社会を創っていくために必要な力を身に付けることができる学校を目指し、次の目標を設定します。
　〇考えを深める子ども
　〇心豊かな子ども
　〇進んで体をきたえる子ども

（２）特色ある教育活動

特別活動

・たてわり班活動…異学年集団を組織し、交流する中で、望ましい人間関係を深め、集団の一員として協力しようとする態度を育てます。
・挨　拶　運　動…各月ごとに担当のクラスを決め、登校時に昇降口で元気よく「おはようございます」と皆に挨拶をします。協力してより良い学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てます。
・児　童　集　会…委員会発表、ゲーム、日本語学級紹介を児童がアイデアを出し練習・発表することで、児童同士の相互理解に役立てます。

生活科・総合的な学習の時間

・創立 150 周年に当たり、児童に福生市の一員としての誇りと郷土を愛する心を醸成できるよう、地域の教育資源や地域人材を有効活用した生活科・総合的な学習の時間の取組の一層の充実を図ります。各学年で、以下のテーマに基づき、探究的な学習に取り組みます。
　・１・２年「昔遊びの名人になろう」（地域の達人との交流）
　・３・４年「みんなで守ろう安心・安全」（一小防災プロジェクト）
　・５・６年「描こう！未来の福生市」（福生市の未来像を描く）

読書活動

・学校図書館司書や図書ボランティアの活用による読書活動の推進
　学校図書館司書と連携し、子どもたちが読書に親しみ、積極的に図書室を活用できるようにします。図書ボランティアによる読み聞かせや図書室整備により、児童の関心・意欲を高め、豊かな情操を育てます。

・読書時間の確保

図書を活用した様々な学習の取組を充実させます。学期ごとに「読書週間」を設け、朝学習の時間に取り組み、読書活動を充実していきます。

ひまわり学級（特別支援学級）

・児童一人一人の発達段階や、個性を大切にした教育を推進していきます。
・通常の学級とは、運動会や社会科見学、遠足などの行事での交流や、朝会・たてわり班活動・交流給食・休み時間の遊びなど、日常的な交流を行います。

日本語学級（通級指導学級）

・日本語学級では、様々な国の子供たちが日本語や生活習慣・文化・伝統を学べるようにしています。困難を乗り越えながら、一日でも早く日本での生活が楽しく充実したものになるよう指導していきます。現在、市内の小学校から児童が集まり関係する国は 12 カ国、計 53 人が学んでいます。
・「隣の友達から世界の友達」へ国際理解教育を推進しています。

特別支援教室（やまなみ）

・拠点校(福生第三小学校)から巡回指導のために４名の教員のほか、１名の専門員が配置されています。
・児童が、在籍学級の中で自分らしさを発揮して生活できるようになることを目指し一人一人の実態に応じた指導を行います。

二中学区（一小・四小・六小・二中）の取組

・中学校区で義務教育９年間を見通した教育実践を目指します。
・二中学区（小中４校）教員の交流会や二中の授業参観を実施して、学区の小・中学校のつながりを意識した指導を行い、小学校段階で育成すべき力を確実に育てます。

（３）研究主題

自分の考えをもち、すすんで話し合い、考えを深める児童の育成

～　算数科における、自力解決から比較・検討の場面の指導の工夫　～

（４）児童数　　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	2	2	2	2	2	2	16（4）
男	22（3）	21（4）	30（3）	27（5）	24（2）	29（6）	153（23）
女	28（0）	23（1）	27（2）	27（0）	27（1）	18（0）	150（4）
計	50（3）	44（5）	57（5）	54（5）	51（3）	47（6）	303（27）

（　）は特別支援学級数・児童数で内数

学校名　福生市立福生第二小学校
校　長　湊　　仁　　副校長　浅　井　博　行
最寄駅　ＪＲ　青梅線　拝島駅・五日市線　熊川駅

（１）教育目標

人間尊重の精神を基盤として、児童に豊かな心、確かな学力、健やかな体の調和を重視した「生きる力」を育成するため、次の目標を定めます。

◎よく考える子（重点目標）
〇思いやりのある子
〇体を大切にする子

（２）特色ある教育活動

- 教育目標「よく考える子」を重点とし、学習用 iPad 等のＩＣＴ機器を積極的かつ効果的に活用した教育の推進、個別最適な学び・協働的な学びの実現をめざし、自ら主体的に学ぶ児童を育てます。
- 児童が学習用 iPad を文房具のように積極的に利活用します。学力調査に基づく個別学習、発表や話し合いなどの協働学習、調べ学習やプレゼンによる発表、動画や写真の活用など、深い学びに繋げていきます。
- これまでの人権教育を基とし、自己肯定感を高める活動を行います。また自分も他人も大切にし、思いやりのある児童を育てていきます。
- 縦割り班活動では、月１回の縦割り班活動と縦割り班を使った読み聞かせや異学年交流を活発に行っています。６年生がリーダーシップを発揮し、主体的に班をまとめ、活動を盛り上げます。下の学年は６年生をお手本とします。活動を通して、いずれは自分たちがリーダーになることを学んでいきます。
- コミュニティ・スクール委員会では、地域の力を結集し、学校の方向性を話し合い、子どもたちの安全や学び、健全育成等のために活動しています。
- 「くまっ子応援団」は本校の学校支援地域組織です。多彩な地域人材や地域教材を活用した授業は、本校の特色の一つです。学習用ｉＰａｄも利活用し、写真や動画を使って学習をまとめたり、オンラインで地域の方と交流したりしながら学習理解を深めています。
- 令和６年度に控える１５０周年記念式典に向け、受け継がれてきた伝統を継承していけるよう、地域・保護者と連携・協働していきます。
- 特別支援教育の専門性を発揮しながら、それぞれの児童の特性に合わせて、その子に寄り添った支援を充実させていきます。
- 読書活動の充実を目指し、図書館司書や中央図書館等との連携を進めるとともに、読書量の目標を設定したり、子供通しで読み聞かせ活動をしたりしながら、読書に親しむ子の育成に取り組んでいます。
- 日本文化の継承やアスリートの招聘などを通してスポーツへの関心と障害者理解を促進します。また、その人の生き方からキャリア教育へも繋げていきます。

・幼・保・小・中の連携に力を入れています。近隣の幼稚園、保育園とのスタートカリキュラムの推進や交流活動を続けています。また、６年生は、中学校への体験を行っています。校種間のスムーズな連携を目指しています。
・楽しく外国語、外国語活動の学習にも力を入れています。教員と ALT で授業を進めます。音楽やゲーム等のアクティビティを取り入れ、楽しみながら学べる外国語教育を目指します。廊下や階段にも英単語等を表記し、英語に慣れ親しむようにしています。

くまがわ学級（特別支援学級）

・児童一人一人の発達段階や、個性を大切にした教育を推進していきます。
・通常の学級とは、運動会や社会科見学、遠足などの行事での交流や、クラブ活動や委員会活動・たてわり班活動など、日常的な交流を行います。

特別支援教室（かわせみ）

・拠点校(福生第五小学校)から巡回指導のために５名の教員のほか、１名の専門員が配置されています。
・児童が、在籍学級の中で自分らしさを発揮して生活できるようになることを目指し一人一人の実態に応じた指導を行います。

一中校区（二小・三小・一中）の取組

・中学校区で義務教育９年間を見通した教育実践を目指します。
・一中校区（小中３校）教員の交流会→令和５年度は、本校で福生第三小学校・福生第一中学校の先生が授業を見に来たり、校務分掌等の６つの分科会を設定して課題を共有したりして、９年間の系統性を検討し、課題対応への連携強化を図ります。

幼保小の連携

　スタートカリキュラムや幼稚園・保育園と連携した取組を推進し、児童の社会情動的スキルを育成します。

（３）研究主題

「深く学び　よく考える子の育成」

～個別最適な学び・協働的な学びの実現に向けた授業づくり～

（４）児童数　　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	2	3	2	3	2	2	16（2）
男	36	39（4）	33（2）	37（1）	33（1）	34（4）	212（12）
女	31	38	33	39（1）	28	30	199（1）
計	67	77（4）	66（2）	76（2）	61（1）	64（4）	411（13）

（　）は特別支援学級数・児童数で内数

学校名　福生市立福生第三小学校
校　長　浅倉　宏之　　副校長　西村　学徳
最寄駅　ＪＲ　青梅線　牛浜駅

（１）教育目標

自己の成長のために自らを律し、自他や地域を愛する心と、自らの未来を主体的に切り拓く力をもった、心身共に健康な児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

◎　よく考え　やりぬく子（重点目標）　〔確かな学力、粘り強く学びに向かう力〕
○　思いやりのある　心豊かな子　〔自己肯定感、人間関係形成力〕
○　進んで体をきたえ　健康な子　〔主体性、基礎身体能力〕

（２）特色ある教育活動

・「支え合い、学び合い、高め合う」を子供たちの中に、教職員の中に、そして地域・保護者と学校の間に実現し、「子供の成長」を核とした学校経営を行う。特に今年度の目標として次の４点を位置付ける。
　①　子供の「知」を伸ばす　②　子供の「心」を耕す
　③　子供の「心身」を鍛える　④　研鑽する教職員及び家庭・地域と連携する教育活動
・「スタートカリキュラム」の実施、「ふっさっ子スタンダード」の活用や幼保小連携の教育活動の機会を通し、小学校生活への円滑なスタートと学びの連続性を図る。
・小中一貫教育を推進し、義務教育９年間の連続性を意識した指導を行うために、年３回以上中学校区での会議を設定し、中学校区の教職員との連携を一層進める。
・児童の発達の段階に応じて、情報活用能力の育成を図る。「ＳＮＳ東京ノート」等の活用及び「ＳＮＳふっさっ子ルール」、「ＳＮＳ学校ルール」の徹底を図り、保護者と連携した情報モラル教育を推進する。
・「特別支援教育校内研修会」の実施、「学校生活支援シート」及び「個別指導計画」を踏まえた情報共有シートの活用、支援レベルに応じた具体的な指導や支援、及び指導目標を踏まえた適切な指導や支援を組織的・計画的に行う。全学年で特別支援の理解教育を実施する。
・日常的な遊び、持久走旬間や持久走大会、及びなわ跳び旬間の実施、「体力調査記録表」を活用した児童自身の振り返り等の取組を通して、体力の向上と運動に親しむ資質の向上を図る。関係機関と連携し、飲酒や喫煙防止、骨貯金等、健康教育に関する指導を充実させる。
・コミュニティ・スクール委員会と学校支援地域組織の活動により、外部人材を活用し教育の充実を図る。「安心・安全」、「学習」、「環境」、「地域ふれあい」の各サポートチームの活動によって、「みんなが主役となって輝ける学校」を目指した「チーム三小」づくりを推進する。
・「学校 2020 レガシー」の取組として、全学年児童に和太鼓を使った表現活動を推進するとともに、第３学年以上の児童には、藍染体験活動、第６学年児童には茶道体験活動により日本の伝統・文化理解教育を推進する。

・年３回の読書旬間の実施、「福生市の先生が選んだ 100 冊」の活用、学校司書との連携、図書ボランティアによる読み聞かせ、学級文庫の工夫、公立図書館との連携、調べ学習における第二図書室の積極的な利用等、読書活動を推進する。さらに、読書習慣の定着に向けて、家庭学習における読書の実施を推進する。

（３）研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現　～国語科の授業改善を通して～」

（４）児童数　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	2	3	2	2	2	2	13
男	28	34	27	30	35	38	192
女	37	43	38	31	30	37	216
計	65	77	65	61	65	75	408

学校名　福生市立福生第四小学校
校　長　南 方　孝 之　　副校長　阿 部　憲 一
最寄駅　ＪＲ　青梅線　福生駅

（１）教育目標

国際化社会、情報化社会に向けて、多様な社会情勢に対応しながら生きる力の確かな育成のため、次のように教育目標を定めます。

◎進んで学ぶ子（重点目標）
（自ら積極的に学び、問題解決力を発揮する児童：「問題解決力」）
〇思いやりのある子
（思いやりの心をもち、温かな友情をはぐくむ児童：「人間関係形成力」）
〇体を鍛えてがんばる子
（健やかな心と体を身に付け、目標達成に努力する児童：「自己実現力」）

（２）特色ある教育活動

・市内幼稚園、保育園、および市内中学校と連携して、スタートカリキュラムやふっさっ子スタンダード等を活用しながら、校外の教育機関と連携して指導していきます。
・一人一台端末を利用する際のモラルや取扱を、児童の発達段階に合わせて指導します。
・校内支援委員会で児童の課題を共有し、組織的な解決を図ります。特に、特別支援的な配慮を要する児童には、やまなみ教室担当の教員や福生市教育相談室や医療機関、スクールカウンセラーや都巡回心理士と連携を図り、各関係機関と協力して対応します。
・学校 2020 レガシーを踏まえて、児童が様々なスポーツに取り組み、楽しみながら体力を向上させる望ましい運動習慣を身に付けさせていきます。
・コミュニティ・スクール委員会や地域社会と連携し、日本の伝統・文化の理解教育と、国
・際理解教育を推進します。中・高学年を中心に学区内の地域文化についての探究活動を指導計画に盛り込み、学校内外に発表し、認められる機会を作っていきます。

（３）研究主題

「自ら積極的に学び、問題解決力を発揮する児童の育成」
～読み解く活動を通して、自分の考えをもつ～

（４）児童数　　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	1	2	2	2	1	2	10
男	13	33	14	26	17	24	127
女	11	20	22	22	19	22	116
計	24	53	36	48	36	46	243

学校名　福生市立福生第五小学校
校　長　泉田　巧人　　副校長　中島　惠大
最寄駅　ＪＲ　青梅線　拝島駅

（１）教育目標

人権尊重の精神を基調とし、生涯を通して主体的に生き社会に貢献する人間の育成と、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性をもち、他者と協力して新たな時代をたくましく生き抜く児童を育成するために次の目標を設定する。

◎よく考え学習する子（重点目標）

・問題解決力：主体的に学び、課題解決に向き合う子

〇優しく思いやりのある子

・人間関係形成力：相手の気持ちを考えて行動できる子

〇健康でねばり強い子

・実践力：心と体を大切にし、目標に向かい努力できる子

（２）特色ある教育活動

・ユニバーサルデザインの視点を生かした指導や教材・教具、教室環境づくり等を行い、児童に「分かる」指導の充実を図る。
・東京都教育委員会指定「安全教育推進校」として校内体制を整えた上で、災害安全をテーマに、学校・家庭・地域の協働にしてカリキュラム・マネジメントや協働、研究成果の発信を通して、「自分の身は自分で守る」ことを身に付けさせ、安全・安心な地域社会の創りの手の育成を目指す。
・東京都「愛鳥モデル校（昭和 47 年より）」として、専門家の指導も仰ぎ、野外観察、調べ学習、環境保護活動等を通して生命尊重・環境保全について体験的学びの充実を図る。
・学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にし、年間計画・単元計画・週ごとの指導計画に適切に重点化しながらバランスよく位置付け、授業改善に取り組むとともに指導と評価の一体化を図る。
・ＩＣＴ教育推進リーダーを中心に授業におけるＩＣＴの活用法を工夫し、「Microsoft Teams」やミライシード、デジタル教科書、大型モニター等を利活用し、個別最適な学びと協働的な学びに向けた授業改善を図るとともに副教材を精選する。
・「福生市英語教育推進計画（第２次）」に則り、小・中学校の連続性を踏まえ、ＡＬＴを教育活動全体において有効に活用して英語教育を充実させ、国際化に対応できるコミュニケーション能力の素地を育む。
・望ましい人間関係構築のために話合い活動の充実を図り、コミュニケーション能力を身に付けるとともに、他者の考えに触れ、自分の考えを広げたり、多面的・多角的に考えたりすることで自主的・実践的な態度を育成する。
・環境教育「愛鳥保護活動」を、カリキュラム・マネジメントにより各教科・領域と関連付け、各教科等の内容にも生かし、体験的、問題解決的な活動を推進する。

- 各教科等の指導内容等において、コミュニティ・スクールの強みを最大限に活用し、コミュニティ・スクール委員や地域人材・保護者と連携・協働して、保護者・地域との連携を生かし、効果的な教育活動を推進する。
- 市立図書館や図書館司書との連携やＮＩＥ実践により児童の資料活用の幅を広げ、主体的な学びを充実させる。
- 不登校等登校できない児童への支援の観点から、コロナウイルス感染症時に培った ICT のノウハウを生かし、オンライン授業を適切に取り入れ学びを保障する。
- 児童が「体力テスト記録表」を活用し、自身の体力に目を向け、感染症や熱中症を防ぐ工夫をしながら、日常的な体育的活動や「楽しく走ろう期間（持久走）」、「なわとび月間」、「夏季水泳指導（全学年 10 回以上）」に取り組み、体力向上を図れるようにする。
- 「学校 2020 レガシー」を教育課程に位置付け、外部講師を招聘するなどにより体験的活動を行い、「ボランティアマインド」、「日本人としての自覚と誇り」が育成できるようにする。
- 「ふっさっ子スタンダード（改訂版）」、「みんなのきまり（五小）」、「ふっさ五スタンダード」等、学習及び生活の基本的なルールを児童自身がその意義を理解し、ルールを守る行動を主体的にとれるようにする。
- 人権教育プログラムを積極的に活用した研修等により、教員の人権感覚を磨き、いじめや暴言、暴力を生まない、見過ごさない指導を行うとともに、現代的な課題も含め人権課題を広く理解する機会を設定して児童が自らの生活にある問題に気付き、適切に働き掛けられるようにする。
- 第６学年における「ＳＯＳの出し方に関する教育」のＤＶＤ（東京都教育委員会）を活用した授業及び全学年における「生命（いのち）の安全教育」を各１時間以上確実に行い、相談できる機会や窓口を把握し命を守るための判断力を培うなど児童が援助希求行動を身に付けさせるとともに、いじめに関する授業を年３回（ふれあい月間中に１回実施）以上の実施や「いじめ防止サミット」を活用したいじめについて考える機会を通して、いじめの未然防止を図る。
- 火災・地震・水害・不審者対応の訓練の確実な実施、「防災ノート」と「東京マイ・タイムライン」の効果的な活用、福生市総合防災訓練や本校の立地条件を踏まえた地域の水防訓練への参加を通して、安全教育推進校としての実践を重ね、身の回りの危険に気付き、日頃の備えが意識できるようにする。
- 全教育活動を通して児童が自らの生き方を考える機会を充実させ、キャリア・パスポートを活用して自身の夢や希望を自覚する機会をもたせ、自己実現が図れるようにする。
- 東京都立多摩工業高校における「ものづくり体験教室」、福生第三中学校における「音楽会見学」、「授業体験・見学」、「部活動体験」、幼保小連携における園児を招いての「秋のたからものランド」等の地域連携を生かしたキャリア教育の充実を図る。
- 「福生市特別支援教育プログラム」を活用し、特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教育校内委員会を充実させ関係諸機関及び在籍学級との具体的な連携を図り、退室目標の達成に向けた適切で粘り強い支援を進める。
- 「学校生活支援シート」、「個別指導計画」を活用した情報共有及びニーズに応じた指導・支援、合理的配慮を充実させる。

・「特別支援教育校内研修会」を計画的に実施し、個々の児童の学習・生活上の困難さに応じた指導・支援の在り方について研修する。
・日本語の理解が不十分な児童への対応として、積極的に日本語学級を紹介し、学習・生活の課題を克服できるよう支援する。

（３）研究主題

「自他の生命を尊重し、安全に生活できる児童の育成
～学校・家庭・地域が一体となった防災意識と実践力の向上を目指して～」

（４）児童数　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
男	27	25	26	27	24	23	152
女	20	32	29	26	26	27	160
計	47	57	55	53	50	50	312

学 校 名　福生市立福生第六小学校
統括校長　榎 並　隆 博　　副校長　岡 野　厚 実
最 寄 駅　ＪＲ　青梅線　福生駅

（１）教育目標

◎よく考え進んで行動する子ども　＜問題解決力＞（重点目標）
〇心豊かで協力し合う子ども　＜人間関係形成力＞
〇健康でねばり強い子ども　＜体力・実践力＞

（２）特色ある教育活動

・コミュニティ・スクールとして、地域・保護者の方々と連携し、学校教育を推進します。
・水曜日・木曜日・金曜日の朝「かめタイム（２０分）」を設定し、東京ベーシックドリル等を活用した繰り返し学習を進め、学力の定着を図ります。
・「ふっさっ子スタンダード」を学年の発達の段階を踏まえて重点化して確実な定着を図るとともに、「学びに向かう力」を高めるための手だてを重視した授業を展開します。
・東京都の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」及び福生市学力・学習状況調査の結果を基に、授業改善推進拠点校として「学びに向かう力」の育成を図るために根拠を明確にした授業改善を推進し、その成果を研究発表会において発信します。
・研究指定校として取り組んだ安全教育と安全管理に引き続き力を入れ、子どもが安心して通うことのできる学校にします。
・かめのこ学級（自閉症・情緒障害特別支援学級）や、やまなみ教室（特別支援教室）での指導を通して一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばす指導を進めるとともに、特別支援教育を充実させ、通常学級に在籍する児童の特性に細かく丁寧に対応し、児童の能力の伸長を図ります。
・外国語（英語）活動を積極的に推進し、子どもたちの英語を用いたコミュニケーションへの意欲や関心を高めます。ＡＬＴとの授業に加え、担任と地域の方々による異文化理解やコミュニケーションの授業を実践し、英語による多様な表現力・会話力を高め、多様な人々と共に生きる心情や態度の育成を図ります。
・読書に親しむ児童を育成するために、毎週月曜日の朝読書タイムを設定します。学校ボランティアの協力を得て、学校図書館整備や読み聞かせ、読書旬間（６月・11 月・２ 月）を実施します。
・幼保と連携した「スタートカリキュラム」の充実を図るとともに、第二中学校の目指す生徒像を踏まえた授業づくりを推進し、幼保小中の連携を更に強固にします。
・コミュニティ・スクールやＰＴＡの行事に積極的に関わることによって、児童の情緒の安定を図るとともに好ましい振る舞いや態度を育成します。

（３）研究主題

学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える

～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析を通して～

（４）児童数　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	2	2	2	2	2	2	15（3）
男	24（2）	25（3）	32（1）	30（4）	30（2）	30（5）	171（17）
女	25	20（2）	21（1）	23（1）	19	29	137（4）
計	49（2）	45（5）	53（2）	53（5）	49（2）	59（5）	308（21）

（　）内は特別支援学級児童数・内数

学校名　福生市立福生第七小学校
校　長　山 岸　史 子　　副校長　中 村　将 行
最寄駅　ＪＲ　青梅線　牛浜駅

（１）教育目標

「学校を核として地域と共に子どもを育てる」という目標を学校と地域が共有し、連携・協働しながら、「ひと」・「もの」・「こと」との関わりを通して、子どもたちが未来を切り拓くための資質・能力を確実に育成することを目指す。

〇よく考え、進んで学ぶ子　　「問題発見・解決能力」
◎明るく、思いやりのある子　　「コミュニケーション能力」（重点目標）
〇体をきたえ、がんばりぬく子　「実践力」「豊かな人間性」

（２）特色ある教育活動

①コミュニティ・スクール委員会による教育活動の充実

コミュニティ・スクールとして、地域学校協働活動の充実と機能化を図る。コミュニティ・スクール委員会が主催する地域環境を生かした教育課程内の環境教育（ホタルプロジェクト等）、情操教育（音楽の演奏会等）、教育課程外の防災教育（着衣泳・消火訓練等）を実施しする。本物体験と各教科・領域等の教育活動の取組との関連を図り、学校を核として地域と共に子どもを育てる

②幼保小の連携について

近隣地域の保育園・幼稚園との交流・連携を進め、保育園・幼稚園から小学校への学びの連続性を考えたスタートカリキュラムを作成し、児童の実態に応じて弾力的に実施する。「ふっさっ子スタンダード」を共有し、自立した学習者の土台づくりを連携して共に育む。学びに向かう力の育成を図るため、授業参観及び交流の場（第１回を４月に実施）を設定し相互連携を深める。

③小中連携教育の一層の充実について

小中一貫事業（三中学区）を学期に１回以上実施し、９年間で育む学びに向かう力を連携して育成する。小中連携事業「七五三あいさつ運動」などの実践を充実させ、社会性を育み、望ましい生活態度を身に付けさせる指導を推進する。また、毎日の挨拶や言葉遣いなどの基本的な生活習慣の定着、校内美化活動の充実などを通して、豊かなコミュニケーションや自立、思いやりの心などを育てる。

④体力向上に係る取組について

体力向上の基盤である「基本的生活習慣の定着」に向け、健康教育を充実させる。「福生市立学校の体力向上策（第２次）」に基づき、「体力テスト記録表」の活用、体育の授業や持久走、短なわ跳び・長なわ跳びの取組、体幹やリズムトレーニング等を通して、体力向上を図る。朝遊び・中休み・昼休みの日常的な外遊びの励行し、心と体の健全育成に取り組む。

（３）研究主題

「互いの多様性を認め、高め合う児童の育成」

～学力の基盤を育む道徳教育の推進～

（４）児童数　　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	2	2	1	2	1	2	10
男	21	18	10	21	13	22	105
女	23	18	24	16	22	27	130
計	44	36	34	37	35	49	235

学校名　福生市立福生第一中学校
校　長　沼 田　博 明　　副校長　田 中　洋 介
最寄駅　ＪＲ　青梅線 牛浜駅・五日市線 熊川駅

（１）教育目標

これからの新しい時代、いわゆる「グローバル社会」に向けて、人と社会・自然環境等と協調しながら、生きる力を育む資質・能力を育成するため、次の目標を設定する。

◎自立（自ら考え、判断し、行動する。:「思考力・判断力・表現力」）

〇共生（誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を認め合う。:「人間関係形成力」）

〇貢献（ある物事や社会のために役立つように力をつくす。:「課題解決力・実践力」）

（２）特色ある教育活動

学力向上▶数学の少人数・習熟度別指導および英語の少人数指導の実施、ICT の効果的な活用と協働学習、外部人材の活用による放課後学習教室の充実等により、学力の向上を図ります。

体力向上▶「学校 2020 レガシー」の取組として、「アルティメット教室」等を通してスポーツへの興味・関心を高めたり、運動への親しみをもたせたりすることで生徒の体力の向上を図ります。

人権教育▶通常学級と特別支援学級との交流を実施し、豊かな人間性と社会性を養い、人権や多様性を尊重する心の育成を図ります。また、意見主張大会を実施し、認め合う心の育成を図ります。

生徒指導▶生徒会活動や学校行事等を通して、生徒の「自主性・主体性」を育み、他者と協働して解決する力や社会に貢献できる力を身に付けさせます。

（３）研究主題

「学習を自己調整し、主体的に学ぶ生徒の育成」

～他己評価やＩＣＴを活用し、共同学習を通じたメタ認知能力の育成を通して～

（４）生徒数　　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	計
学級数	5	5	5	22（7）
男	78（8）	79（11）	84（9）	226（29）
女	77（1）	68（5）	78（3）	221（13）
計	155（9）	147（16）	162（12）	464（37）

（　）は特別支援学級数・生徒数で内数

学校名　福生市立福生第二中学校
校　長　森　保　　亮　　副校長　平 井　貞 昭
最寄駅　ＪＲ　青梅線　福生駅

（１）教育目標

人権尊重の精神に基づき、創造性に満ち、心身の向上を目指して、他と協力できる個性豊かな実践力のある人間を育成する。

◎豊かな心と知性を養う（重点目標）
〇強い意志と体力を育てる
〇勤労意欲と責任感を培う

（２）めざす生徒の姿

ア 考えを深め豊かに表現する生徒
イ 生命を尊重し心身を鍛え健全に生活する生徒
ウ 自分自身と自分が関わるすべての人を大切にする生徒
エ 将来を見据え見通しをもって学び行動する生徒

（３）本校が最も重視して培うべき資質・能力

① 豊かな言語能力
② 計画的に行動する力

（４）特色ある教育活動

・「福生市の先生が選んだ 100 冊」等を図書室に特設コーナーとして設置し、読書活動を推進するとともに、毎朝 10 分間の朝読書を実施する。そして、読書に親しむことを習慣化し、落ち着きある学校生活の実現を図る。
・福生市立学校体力向上策（第２次改訂）を踏まえ、「RSC 及び PUC」を実施し、いつでも、どこでも、気軽に楽しく体力を向上させることができる取組を継続して行い、心身が健康で調和のとれた生徒の育成に努める。
・小・中学校の合同の授業研究や交流等を通して、「ふっさっ子スタンダード」等を活用した指導について研究を深め、学区小学校と連携した系統性のある指導を行う。
・特別支援教育コーディネーターを中心に、保護者や本人の意向を十分に踏まえた学校生活支援シートを組織的に作成し、一人一人のニーズに応じた教育支援を行うとともに、関係機関と連携しながら指導目標を踏まえた計画的かつ組織的な特別支援教育を推進する。
・「学校 2020 レガシー」として、「障害者理解」、「豊かな国際感覚」、「ボランティアマインド」、「スポーツ志向」の資質を重点的に育成する。
・年度当初の「スプリングウィーク」におけるオリエンテーションの充実や学級組織作り、体育大会に向けた学級のまとまり作り等を通じて、小学校生活との円滑な接続を図るとともに、いじめや不登校の未然防止につなげる。

（５）研究主題

一人一人の生徒が夢や希望をもって生活する学校づくり

～生徒が活躍できる「仕掛け」の工夫～

（６）生徒数　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	計
学級数	4	4	4	12
男	66	63	78	207
女	76	59	74	209
計	142	122	152	416

学校名　福生市立福生第三中学校
校　長　植 村　多 岐　　副校長　市来原　真 茂
最寄駅　ＪＲ　青梅線 牛浜駅・五日市線 熊川駅

（１）教育目標

人権尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性・感性・道徳心に富み、人間性豊かに成長するために次の目標を設定します。

◎ よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒を育成する。「課題解決力」（重点目標）
○ ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒を育成する。「実践力」
○ 責任を果たし、みんなのために働く生徒を育成する。「共生力」
○ 美しいものをもとめ、豊かな心をもつ生徒を育成する。「人間関係形成力」

（２）特色ある教育活動

① 体育祭と音楽会を三中の２大行事と位置付け、集団としての達成感や成　就感を体感させ、生徒一人一人の自尊感情や自己肯定感、帰属意識を高 める。
② 読書に対する興味・関心の啓発のために、10 分間の朝読書を行う。また、学校司書を活用して前後期２回の読書週間およびブックトークを実施し、読書活動の一層の推進に取り組む。
③ 体力テストを実施し、そのデータを用いて生徒が自身の健康や体力について、振り返るとともに、福生市「アルティメット教室」の取組や各学期に「三中体力向上チャレンジタイム」を実施し、健康の増進と体力の向上を図る。
④ 「田園通りを挨拶通りにする」というスローガンの下に、生徒会を中心に、三中校区の小学校、町会、自治会と協力体制を構築し、地域を巻き込んだ「七五三挨拶運動」を実施する。
⑤ 50 周年記念事業に向けての取組を通して、本校の 50 年間の歴史と伝統を再認識し、記念日を祝賀する心情と愛校心を育む。また、記念行事を契機に、「地域に開かれた教育課程」を一層推進し、本校の教育活動を　積極的に発信するとともに、地域と共に歩むコミュニティ・スクールとしての更なる発展と充実を図る。

（３）研究主題

「考え、議論する道徳」の授業実践　～指導方法の工夫を通して～

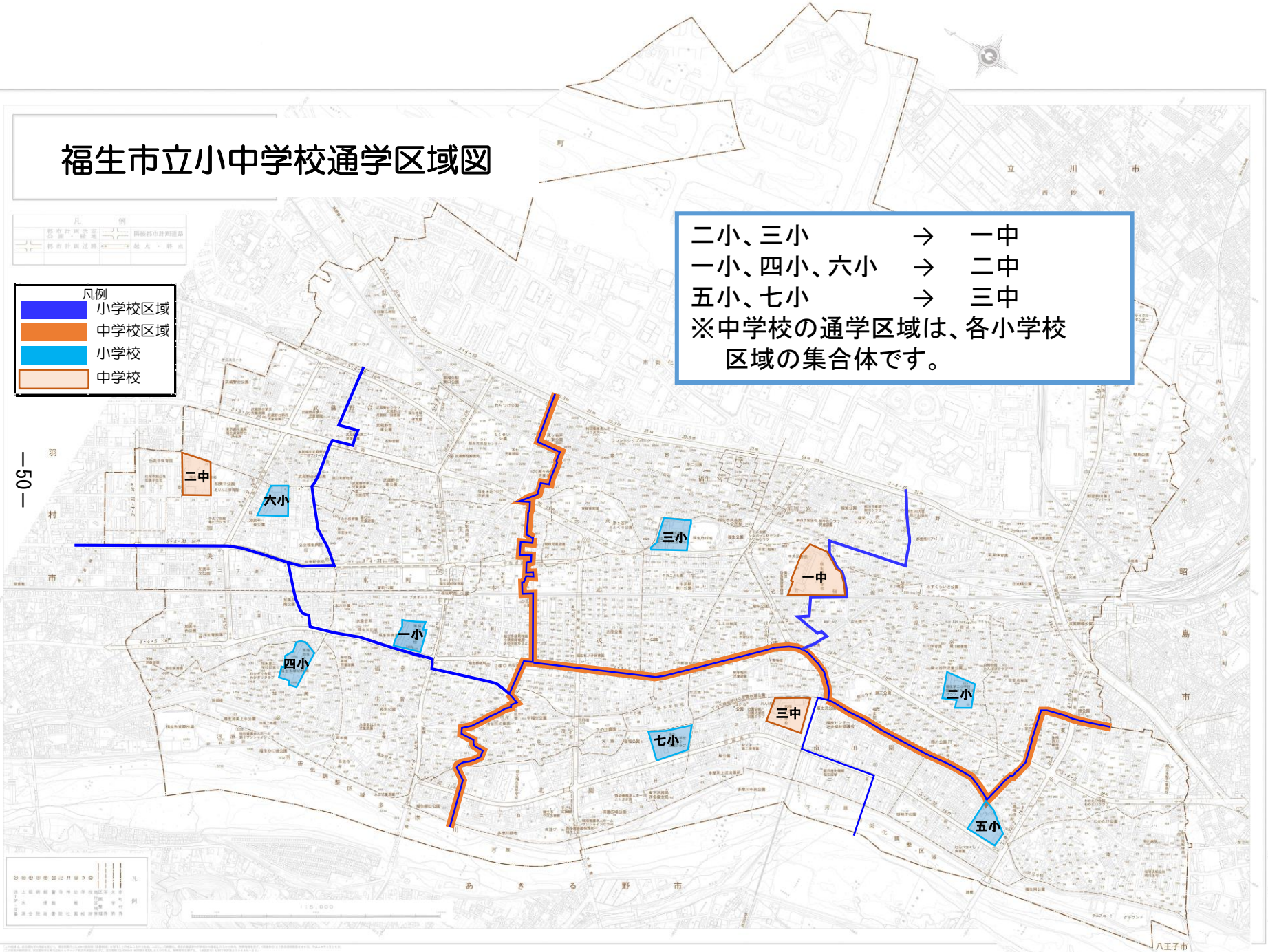
（４）生徒数　　（令和５年５月１日現在）

学　年	1	2	3	計
学級数	3	2	2	7
男	41	37	44	122
女	41	40	20	101
計	82	77	64	223

６　小・中学校通学区域

学　校　名	通　学　区　域（町会・自治会名）
第一小学校	本町第一、本町、本町中央、本町第六、本町第七、本町八第一、武蔵野台一丁目（武蔵野台通り以北及び武蔵野台一丁目 16 番地６から同番地８までを除く。）
第二小学校	武蔵野、福東、鍋ヶ谷戸第一、鍋ヶ谷戸第二、玉川台、富士見台
第三小学校	福栄、熊川牛浜（新奥多摩街道以西を除く。）、牛浜第一（新奥多摩街道以西を除く。）、牛浜第二、原ヶ谷戸、志茂第二（新奥多摩街道以西を除く。）
第四小学校	永田（市道田園第７号線以北）、長沢、加美
第五小学校	福生熊川住宅、南、内出、南田園一丁目、南田園二丁目（福生団地を除く。）
第六小学校	本町八第二、加美平住宅、武蔵野台一丁目（市道武蔵野台 14 号線以北及び武蔵野台一丁目 16 番地６から同番地８まで）
第七小学校	熊川牛浜（新奥多摩街道以西）、牛浜第一（新奥多摩街道以西）、志茂第一、志茂第二（新奥多摩街道以西）、永田（市道田園第７号線以南）、南田園三丁目、福生団地
第一中学校	福生第二小学校の通学区域、福生第三小学校の通学区域
第二中学校	福生第一小学校の通学区域、福生第四小学校の通学区域、福生第六小学校の通学区域
第三中学校	福生第五小学校の通学区域、福生第七小学校の通学区域

福生市立小中学校通学区域図



二小、三小　→　一中
一小、四小、六小　→　二中
五小、七小　→　三中
※中学校の通学区域は、各小学校区域の集合体です。

7　令和５年度　福生市立学校　学校行事等予定一覧

令和5年4月1日現在

	行事	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	一中	二中	三中
1	1学期始業式	4/6 木									
2	入学式	4/6 木							4/7 金		
3	1学期終業式	7/20 木									
4	2学期始業式	8/29 火									
5	2学期終業式	12/25 月									
6	3学期始業式	1/9 火									
7	卒業式	3/25 月							3/19 火		
8	修了式	3/22 金							3/25 月		
9	開校記念日	6/15 木	10/7土	11/2木	4/10月	5/6土	6/10土	6/10土	5/6土	6/10土	6/10土
10	運動会・体育祭	9/30 土	10/21土	10/21土	6/3土	5/13土	9/30土	10/14土	5/27土		
11	文化的行事	11/10・11 金・土 音楽会	12/1・2 金・土 音楽会	12/8・9 金・土 学習発表会	12/1・2 金・土 展覧会	2/16・17 金・土 学習発表会	12/8・9 金・土 展覧会	12/1・2 金・土 学習発表会	10/26木 合唱	10/20金 合唱	10/28土 音楽会
12	オーケストラ鑑賞教室	4/21 金									
13	小学校音楽会	11/24 金									
14	心の劇場	6/1 木									
15	名栗自然教室	10/20・21 金・土	9/22・23 金・土	9/27・28 水・木	9/28・29 木・金	9/26・27 火・水	10/26・27 木・金	9/20・21 水・木			
16	スキー教室								1/19～21 金～日	1/10～12 水～金	1/21～23 日～火
17	日光移動教室	6/7～9 水～金	6/17～19 土～月	6/8～10 木～土	7/6～8 木～土	6/5～7 月～水	6/3～5 土～月	6/28～6/30 水～金			
18	修学旅行								10/9～11 月～水	9/9～11 土～月	9/8～10 金～日
19	特別支援学級宿泊学習	6/30～7/1 金～土	10/27～28 金～土						7/5～6 水～木		
20	学校水泳指導	5/29月～9/8金	6/12月～7/19水	6/5月～7/20木	6/7水～7/19水	6/5月～7/20木	6/1木～7/19水	6/12月～7/15土	6/12月～9/29金	6/26月～9/27水	6/26月～9/8金
21	夏季水泳指導	7/21 金～8/3 木							8/25金	7/31月～8/18金の3日	8/21～25 月～金
22	道徳授業地区公開講座	1/20土	9/9土	2/17土	1/20土	10/28土	1/20土	1/20土	9/16土	9/16土	9/16土
23	セーフティ教室	6/13火	5/8月 5/13土	6/24土	6/9金	5/25木	7/3・4 月・火	9/9土	4/26水	5/2火	4/13木
24	薬物乱用防止教室	12/6水	1/19金	1/30火	7/13木	3/11月	1/20土	2/22木	7/4水	7/7金	11/30木

	行事	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	一中	二中	三中
25	土曜授業日	5/20 9/9 1/20	5/13 9/9 1/20	5/13 6/10 6/24 9/9 2/17	5/13 10/14 1/20	6/17 10/28 1/27	5/20 6/17 9/9 1/20 2/17	4/22 5/13 7/15 9/9 1/20	5/20 9/16 10/7	5/13 9/16 10/7	5/20 6/10 9/16
26	式典・研究発表	11/18土 150周年 式典				11/22水 市発表 都安推校	11/2木 都授業改 善拠点校		2月 都体育健 康教育	11/10金 都不登校 事業	10/28土 50周年 式典
27	学校110番通報装置訓練	4/4火	4/6木	4/3月 8/29火	4/3月	4/7金	4/6木 6/7水	4/5水 8/29火 9/22金	4/5水	4/10月	4/5水
28	遠足1年	5/30火 昭和記念公園	5/25木 未定		5/9火 わかぐさ公園	10/20金 かに坂公園	5/26金 かに坂公園	5/17水 福生南公園			
	遠足2年	5/30火 昭和記念公園	5/25木 未定		5/9火 わかぐさ公園	10/20金 かに坂公園	5/9火 昭和記念公園	5/17水 福生南公園			
	遠足3年	5/12金 青梅丘陵	5/22月 五日市方面		4/25火 多摩川	4/26水 小峰公園	5/12金 永山丘陵	5/11木 昭和記念公園			
	遠足4年	5/12金 青梅丘陵			4/25火 多摩川	4/26水 小峰公園		5/11木 昭和記念公園			
29	校外学習1年	10/13金 羽村動物園	9/14木 南公園	10/27金 羽村動物園	9/15金 羽村動物園	5/19金 中央公園	9/15金 かに坂公園 10/12木 羽村動物園 11/15水 かに坂公園	10/31火 羽村動物園		9/21水 川越	
	校外学習2年	10/13金 羽村動物園	9/7木 中央公園	4/28金 昭和記念公園	9/15金 羽村動物園	5/23火 羽村動物園	9/8金 中福生公園 10/12木 羽村動物園	10/31火 羽村動物園	1/12金 都内 1/18木 TGG立川	2/9金 TGG立川	2/1木 都内 2/6火 TGG立川
	校外学習3年	6/2金 市内見学 5/29月 多摩川 2/6火 郷土資料室	9/29金 防災食育 センター	6/16金 消防署 たてもの園 10/31火 市内	6/7水 市役所	6/21水 市内	6/23金 防災 食育センター	10/23月 市内			
	校外学習4年	6/16金 清掃工場 10/31火 玉川上水 1/26金 都内見学	11/14火 羽村取水堰 2/13火 都心	6/2金 西多摩 衛生組合 11/8水 玉川上水 1/19金 都心	6/29木 西多摩 衛生組合 1/18木 都内	6/13木 西多摩 衛生組合 9/15金 羽村堰 11/9木 都内	6/21水 リサイクル センター 10/6金 羽村市 郷土博物館 11/17金 都内臨海地域	6/22木 市内 10/19木 都内			
	校外学習5年	12/8金 自動車工場 2/2金 TGG立川	12/7木 未定 3/7木 TGG立川	2/2金 工場 3/8金 TGG立川	10/24火 工場 2/2金 TGG立川	10/24火 日野自動車 2/22金 TGG立川	11/21火 日野自動車 11/29水 神明緑道 2/9金 TGG立川	1/23火 工場見学 11/20月 TGG立川			
	校外学習6年	2/9金 国会 10/19木 茶室福庵	2/8木 国会	9/19火 国会	2/27火 国会	6/30金 国会	6/27火 国会	9/19火 国会			
30	定期考査（1学期）								6/21水～23金	5/11木～12金 6/28水～30金	6/21水～23金
	定期考査（2学期）								9/27水～29金 11/14火～16木	9/28木～29金 11/15水～17金	9/20水～21木 11/15水～17金
	定期考査（学年末）								2/26月～28水	2/19月～21水	2/26月～27火

8　小・中学校の令和５年度使用教科書一覧

小学校

種　　目	発　行　者	書　　名
国語	光村図書出版株式会社	国語
書写	光村図書出版株式会社	書写
社会	東京書籍株式会社	新しい社会
地図	株式会社 帝国書院	楽しく学ぶ　小学生の地図帳
算数	東京書籍株式会社	新しい算数
理科	大日本図書株式会社	たのしい理科
生活	教育出版株式会社	せいかつ
音楽	株式会社 教育芸術社	小学生の音楽
図画工作	開隆堂出版株式会社	図画工作
家庭	開隆堂出版株式会社	小学校　わたしたちの家庭科
保健	株式会社 学研教育みらい	みんなの保健
英語	株式会社　三省堂	CROWN　Ｊｒ．
道徳	東京書籍株式会社	新訂　新しい道徳

中学校

種　　目	発　行　者	書　　名
国語	光村図書出版株式会社	国語
書写	光村図書出版株式会社	中学書写
社会・地理的分野	株式会社　帝国書院	社会科　中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会・歴史的分野	東京書籍株式会社	新しい社会　歴史
社会・公民的分野	東京書籍株式会社	新しい社会　公民
地図	株式会社　帝国書院	中学校社会科地図
数学	東京書籍株式会社	新しい数学
理科	学校図書株式会社	中学校科学
音楽（一般）	株式会社　教育芸術社	中学生の音楽
音楽（器楽合唱）	株式会社　教育芸術社	中学生の器楽
美術	光村図書出版株式会社	美術
保健体育	大日本図書株式会社	中学校保健体育
技術・家庭（技術分野）	東京書籍株式会社	新しい技術・家庭　技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭（家庭分野）	東京書籍株式会社	新しい技術・家庭　家庭分野 自立と共生を目指して
英語	東京書籍株式会社	NEW HORIZON English Course
道徳	東京書籍株式会社	新訂　新しい道徳

９　令和５年度小・中学校の教育研究事業（都・国事業）

（１）安全教育推進校事業

児童・生徒に危険を予測し回避する能力や、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するため、「安全教育プログラム」を活用した安全教育を推進し、その取組や成果の普及を図ります。
※令和５年度推進校：福生第五小学校

（２）不登校児童・生徒支援調査研究指定校事業

不登校対策では、不登校の未然防止、早期支援及び長期化への対応の取組について、自校の不登校の現状に対応したものとなっているかを改めて検証し、状況に応じて取組を改善することが重要です。そのため、不登校対策のうち、特に未然防止に注目し、全ての児童・生徒を対象とした不登校の生じにくい魅力ある学校づくりを行うとともに、その取組について検証する調査研究を行い、その成果の普及・啓発を図ります。
※令和５年度推進校：福生第二中学校

（３）授業改善推進拠点校事業

児童・生徒の学力向上を図るため、学習状況調査等の各種調査結果を集約、分析後、児童・生徒一人ひとりの学習改善を効果的に促す指導方法を開発し、その取組や成果の普及を図ります。
※令和５年度推進校：福生第六小学校

（４）体育健康教育推進校事業

児童・生徒が、学校において、運動やスポーツとの多様な関わりを通して、健康で活力に満ちた生活をデザインする資質や能力を育成するため、効果的な体育健康教育を実践的に研究し、その取組や成果の普及・啓発を図ります。
※令和５年度推進校：福生第一中学校

10　学校医

学校医は、学校保健安全法に基づき、教育委員会が委嘱し、学校における児童・生徒等及び職員の健康の保持増進を図るため、学校における保健管理に関する専門的事項を担っています。

学校医一覧　　令和５年４月１日現在

学　校　名	学　校　医 （内科）	学　校　医 （耳鼻科）	学　校　医 （眼科）	学校歯科医	学校薬剤師
第一小学校	山口　太平	宮城　真理 （担当校）一小 四小 五小 六小 七小 二中 三中	小倉　拓 （担当校）四小 六小 七小	松永　良治	齊藤　玲子
第二小学校	波多野　嗣久			梅田　善久	牧野　優也
第三小学校	瀬在　秀一			今里　章	林　佳子
第四小学校	島井　新一郎		波多野　晶子 （担当校）一小 三小 一中	片岡　芳保	堀田　晴理
第五小学校	清水　マリ子			内倉　義宣	八巻　亨
第六小学校	小久保　義和			田邉　怜	山本　真敬
第七小学校	桂川　敬太		黒川　由加 （担当校）三中	関口　賢真	三井　理
第一中学校	西村　曜	大野　芳裕 （担当校）二小 三小 一中		平出　亮吉	遠藤　洋
第二中学校	青山　彰		渕向　律子 （担当校）二小 五小 二中	田中　史	尾崎　達哉
第三中学校	津田　倫樹			好士　連太郎	大戸　規彰

11　スクールカウンセラー

スクールカウンセラーの主な仕事

　スクールカウンセラーは、生徒のさまざまな相談に乗り、アドバイスをしたり、教員や保護者とも連携して問題解決のために働きかけたりします。 生徒の悩みは勉強や部活などにおけるストレスのほか、いじめが原因となり不登校となってしまう場合、時には自殺を考えてしまうようなケースなど、それぞれの悩みを受け止め、心のケアを施します。

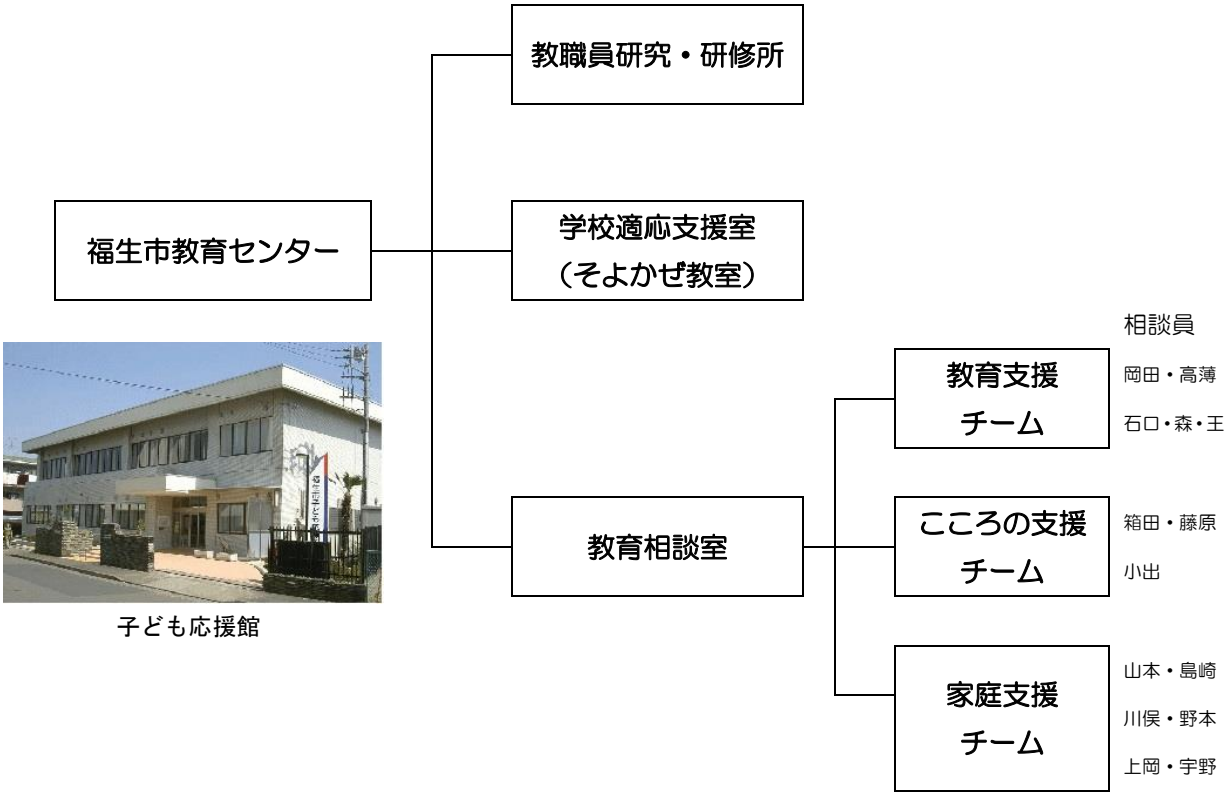
スクールカウンセラー配置表（令和5年４月時点）

学　校　名	氏　名	配置曜日
福生第一小学校	寺　島　ひろ子	金
福生第二小学校	伊　藤　久　美	木
福生第三小学校	高　田　裕　美	火
福生第四小学校	髙　坂　祐　希	金
福生第五小学校	松　浦　宏　明	火
福生第六小学校	齊　藤　弘　賢	火
福生第七小学校	嘉手納　　悟	水
福生第一中学校	猪　熊　大　史 佐　藤　　隆	火・金
福生第二中学校	井　上　滉　太 安　間　明　子 三　浦　大　舗 上　関　弓　恵 石　井　麗　衣	月・火・水・木・金
福生第三中学校	橋　本　　薫 金　子　友　紀	月・火・木

※中学校においては。東京都の検証事業により配置回数が異なります。

12　教育センター

福生市教育センターは、教育の充実と振興を図るため、「教職員研究・研修所」「学校適応支援室」「教育相談室」の機能を持ち、「教職員研究・研修所」は中央体育館内に、「学校適応支援室」「教育相談室」は子ども応援館内に設置しています。



子ども応援館

名称	事業内容等
教職員研究・研修所	研究センターとして、教育課題について実践的な調査研究と、各学校経営支援を行っています。また、教職員の専門的な教育的力量及び資質の向上を図るため、教職員のライフステージや学校教育の諸問題に対応した教育支援を行っています。
学校適応支援室 （そよかぜ教室）	様々な理由から小学校や中学校に通学することのできない児童・生徒の学習、生活面に関する支援を行い、学校復帰をめざします。 ①学習面での指導　②集団活動を通しての指導 ③体験的活動を通しての指導　④心理面での支援
教育相談室	市内在住の小学生（入学予定児童含む）から高校生程度までのお子さんと、その保護者からの相談 相 談 内 容　就学相談、心理相談、家庭生活支援 相談の受付　月曜日～土曜日（祝祭日を除く） 午前８時30分～午後５時15分 ※ スクールソーシャルワーカー：不登校・学力不振・非行などの問題を抱えている児童・生徒について、置かれている環境やその子の特徴などを考慮しながら、学校との緊密な連携の下、直接、家庭とつながり、関係機関と連携して、問題を解決していきます。

教育相談室　チーム別　相談件数・実施件数（令和4年度事務報告書）

教育支援チーム　　【つむぎ】　２，２４９件
こころの支援チーム【つばさ】　４，１４２件
家庭支援チーム　　【ＳＳＷ】　１，２９６件

13　特別支援教育

福生市教育委員会は一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸長する特別支援教育を推進するため、特別支援学級や特別支援教室を設置しています。

特別支援学級（固定学級）は、小・中学校の一つの学級として位置付けられており、諸行事等を通じ、日常的に通常の学級の児童・生徒との交流や共同学習を行います。

通級指導学級や特別支援教室は、在籍学級から、週１時間から週８時間の範囲で児童・生徒が通級・通室するもので、学習面や行動面において困っていることを軽減・改善できるよう児童・生徒一人ひとりの実態に応じた指導・支援を行います。

<table>
<tr><th colspan="2">小学校特別支援学級等</th><th colspan="2">種　別</th></tr>
<tr><td colspan="2">福生第一小学校　ひまわり学級</td><td>（固定学級）</td><td>知的障害</td></tr>
<tr><td colspan="2">福生第二小学校　くまがわ学級</td><td>（固定学級）</td><td>知的障害</td></tr>
<tr><td colspan="2">福生第六小学校　かめのこ学級</td><td>（固定学級）</td><td>自閉症・情緒障害等</td></tr>
<tr><td colspan="2">福生第七小学校　ことばの教室</td><td>（通級指導学級）</td><td>言語障害</td></tr>
<tr><td>福生第三小学校（拠点校）</td><td rowspan="4">やまなみ教室</td><td colspan="2" rowspan="7">（特別支援教室）　情緒障害等</td></tr>
<tr><td>福生第一小学校</td></tr>
<tr><td>福生第四小学校</td></tr>
<tr><td>福生第六小学校</td></tr>
<tr><td>福生第五小学校（拠点校）</td><td rowspan="3">かわせみ教室</td></tr>
<tr><td>福生第二小学校</td></tr>
<tr><td>福生第七小学校</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">中学校特別支援学級等</th><th colspan="2">種　別</th></tr>
<tr><td colspan="2">福生第一中学校　８組</td><td>（固定学級）</td><td>知的障害</td></tr>
<tr><td colspan="2">福生第一中学校　９組</td><td>（固定学級）</td><td>自閉症・情緒障害等</td></tr>
<tr><td>福生第三中学校（拠点校）</td><td rowspan="3">せせらぎ教室</td><td colspan="2" rowspan="3">（特別支援教室）　情緒障害等</td></tr>
<tr><td>福生第一中学校（巡回校）</td></tr>
<tr><td>福生第二中学校（巡回校）</td></tr>
</table>

14　日本語学級

日本語能力が不十分な児童・生徒に対し、学習理解及び生活習慣の習得を目的とした特別な授業・指導を行っています。児童・生徒は学区域の小・中学校に在籍し、週あたり８時間を上限として、日本語学級設置校へ通級し、日本語指導を受けています。

日本語学級設置校
福生第一小学校
福生第二中学校

15　不登校生徒のための教育

福生市教育委員会は不登校の生徒が社会的に自立できる力を育んでいくため、一人ひとりの状況に合った独自の教育課程を編成していく学びの場として、７組を設置しています。

中学校不登校特例校分教室
福生第一中学校　７組

16　学校給食

（１）学校給食

平成 29 年９月から稼働を開始した学校給食センター（防災食育センター）では、新たに中学校完全給食、食物アレルギー対応給食を開始し、主食は週 5 日で、原則、米飯を４回、パン等を１回提供しています。調理はできるだけ手作りで行い、季節感のある行事献立を取り入れながら、栄養バランスのとれた安全・安心でおいしい給食を目指しています。

また、食材は原則として国産とし、平成 20 年度からは地元地域で採れた食材を積極的に使用しています。

学校給食センター（防災食育センター）施設概要

	防災食育センター
所　在　地	福生市大字熊川 1606 番地１ ☎ 042－551－8351
建 物 面 積	3,847.82 ㎡
調 理 開 始	平成 29 年９月
調 理 食 数	4,000 食
対　象　校	市内全小学校（７校） 市内全中学校（３校）

（２）福生市学校給食センター運営審議会

福生市学校給食センター運営審議会は、学校給食費の保護者負担、衛生管理などについて調査審議を行う審議会です。

任　期　令和４年６月 29 日から令和５年６月 28 日まで

役　　職	氏　　名	備　　考
会　長	刈　田　来　人	福生第二小学校ＰＴＡ会長
副会長	青　木　　豊	福生第三小学校ＰＴＡ会長
委　員	髙　瀬　智　子	福生第一小学校長
〃	湊　　仁	福生第二小学校長
〃	鈴　木　智　子	福生第三小学校長
〃	南　方　孝　之	福生第四小学校長
〃	泉　田　巧　人	福生第五小学校長
〃	榎　並　隆　博	福生第六小学校長
〃	山　岸　史　子	福生第七小学校長
〃	沼　田　博　明	福生第一中学校長
〃	小　出　　宏	福生第二中学校長
〃	植　村　多　岐	福生第三中学校長
〃	島　田　令　子	福生第一小学校ＰＴＡ会長
〃	髙　橋　典　久	福生第四小学校ＰＴＡ会長
〃	薗　田　紘一郎	福生第五小学校ＰＴＡ会長
〃	上　野　恵　美	福生第六小学校ＰＴＡ会長
〃	木　村　敦　史	福生第七小学校ＰＴＡ会長
〃	勝　目　涼　一	福生第一中学校ＰＴＡ会長
〃	竹　原　弘　美	福生第二中学校ＰＴＡ会長
〃	山　田　麗　香	福生第三中学校ＰＴＡ会長
〃	清　水　省　吾	東京都西多摩保健所生活環境安全課長